

保団連

歯総指廃止・プラス改定求め 診療報酬改善要望の「たたき台」

保団連は2008年診療報酬改定に対する要求(案)を6月代議員会に向けまとめており、協会・協会の意見を集約するため「たたき台」を発表した。協会は、広く会員からの意見を求める。

たたき台は、歯科の現状として一貫した低診療報酬政策からなる①永きにわたる基礎的技術料の据え置き②新技術がほとんど保険導入されない③治療行為の包括化による実質の評価引き下げ④安価な長期管理を医院に押し付ける歯科疾患総合指導料の体系——を挙げており、その改善を求めている。

具体的には、①患者ごとの病態変化や個別性に対応できない、併算定の禁止により患者のフリーアクセスを阻害するなど、歯科の診療実態にそぐわない「歯科疾患総合指導料」体系の廃止②患者からの要望の強い治療終了後の再発予防・安定期の口腔管理を実施できる長期療養型継続管理の新設③文書提供の義務化撤廃と提供時の適切な評価④必要以上の膨大なカテゴリー記載の撤廃⑤患者の求めに応じた保険の給付範囲の拡大⑥新技術の保険導入——など。

歯科・医科の共通項目では、①基礎的技術料で

ある初・再診料を引き上げたうえで、医科歯科格差を是正すること②歯科医学管理料における一律の文書提供義務化の撤廃と、必要によって行った文書提供を評価すること③小泉構造改革によるマ

イナス改定の影響を取り戻すため、08年改定で少なくとも7・25%の引き上げすること——などの項目を挙げている。

また、憲法25条に基づいた医療の実現を目指して、就学前の子どもの医

診療報酬 学会等から提案受け付け 2月から6月まで

厚労省

厚労省保険局医療課は、来年4月に予定する診療報酬改定に向けて日本医学会、内科系学会、外科系学会、保険委員会連合(外保連)、日本歯科医学会等から点数評価についての提案を2月1日から6月30日までの間受け付けている。

提案書を出していただけるのは原則として日本医学会分科会、内保連、外保連、日本歯科医学会専門分科会、看護系学会等社会保険連合に属する学会と日本医学会。医療課ではこの他の学会からの提案も受け付けている。

提案書を出していただけるのは原則として日本医学会分科会、内保連、外保連、日本歯科医学会専門分科会、看護系学会等社会保険連合に属する学会と日本医学会。医療課ではこの他の学会からの提案も受け付けている。

保団連・協会は08年診療報酬改定要求(案)を6月までにまとめる。そのための会内討議と並行して、歯科医学会を通して臨床現場の意見を反映させるため、医学会と専門分科会に懇談を要請している。また、直接医療課に向けた要請も強めることとしており、3月22日に保団連が医療課長補佐らと懇談した。大阪歯科協会からは吉田理事、矢部理事らが参加した。

◆ 本号の話題 ◆

- 各地区総会報道……………2面
- 第48回定期総会・記念講演抄録「豊かな脳を育てる食脳学」…3面
- 社保シリーズ「歯根分離・分割抜歯と修復・補綴」…4面
- 小田実氏 平和講演「アメリカと今いかにつきあうか」…5・6面
- 求人情報……………2面
- 年金PR……………付録1・2

日常診療 経験交流会を語る

日常臨床経験交流会が6月10日「医科・歯科融合 未来を見つめる地域医療」よりよく食べるは



吉田 裕志
協会理事・日常診療経験交流会 実行委員

合 未来を見つめる地域医療「よりよく食べるは」よりよく生きる」をテーマに行われる。

特徴は、「よりよく食べるはよりよく生きる」と設けて、食(食べる)や咀嚼を通じた健康づくりの交流会に、多くの人が参加してもらおうという点にある。普段何げなく食(食べる)ことや当然とされていることが、突然少しでも支障をきたすとどうなるか。また、食習

医科・歯科連携の場を 将来の地域医療を考える

よりよく生きる」をテーマに行われる。

地域医療の発展には、医科・歯科の連携が不可欠である。地域医療の発展には、医科・歯科の連携が不可欠である。地域医療の発展には、医科・歯科の連携が不可欠である。

スタッフ教育に欠かせない1冊

『アシスタントのための歯科保険診療ハンドブック (2007年版)』

4月末発行 会員には無料で1冊お届け



A 4判128ページ 定価 4000円

スタッフに好評の「アシスタントのための歯科保険診療ハンドブック(2007年版)」を4月末に発行します。新たにバキュームの使用方法や印象・セメント・石膏の練和などのチェアサイドでの作業方法や、訪問診療と介護保険における歯科衛生士の療養管理・指

療費を無料にすることや、高齢者の窓口負担を引き下げるなど、混合診療の解禁・保険外併用療養費の拡大反対などを盛り込んだ。

(案)のたたき台について、ご意見は5月7日までにお寄せください。資料請求については、協会ホームページをご覧ください。ただ、または事務局にお問い合わせください。

第22回理事会

診療報酬要求案づくりへ 考え方整理し学会に働きかけ

協会は第22回理事会を3月10日(金)に開き、08年診療報酬改定に向けて現行点数表の矛盾を洗い出し

たついで、会員意見調査や学会調査なども取り込んで改善要求案をまとめていくことを決めた。

各種相談室

専門家がおこたえします

法律相談

【日時】5月7日(月)午後2時～4時
【相談者】河村武信弁護士

税務相談

【日時】5月16日(水)午後2時～5時
【相談者】林明税理士

雇用相談

【日時】5月17日(木)午後2時～4時
【相談者】桂好志郎社労士
相談料は無料、会場は保険医会館1Fです。事前予約制で、1週間前に締め切ります。

歯界

政府の度重なる波状攻撃で日本の医療機関の多くは疲弊し、国民の健康は危機にさらされている。

その攻撃内容も連綿的、患者負担増から事務煩雑化、患者に医療不信を助長し、患者が納得しきれぬ奇妙なルールと、さらには患者も医療機関も慣れや対応の暇のない朝令暮改である。

制度の改定は益々改善を呼び、さらには医療福祉に止まらず、国民生活全般の圧迫要因となっている。

医療機関の逼迫状態もまもなく、対応策もそれぞれで仲間内の議論も噛み合いにくい。

大企業みたいに従業員労働条件の強化やリストラを目指すのもいれば、怪し気な新材料新技術で収入アップを狙うものもある。

むしろ、自分と家族の労働強化が手取り早い対策だが、心身の健康を維持しにくい所まで至っている。

精神的に当局へ働きかけている我々現場の代表達の心身健康こそ、最大の祈念事項である。